

つばき

—第3号—



松江商工会議所婦人会

松江市の花・椿

古くから松江の人々は椿を愛してきた。城山の裏道に今なお椿谷の名が残り寒中にもその清楚でカレンな花たちは道ゆく人々の心を洗ってくれる。

～松江商工会議所創立百周年～ 記念式典および記念事業に協力

去る10月5日松江商工会議所創立100周年記念式典が盛大に開催された。

記念事業として「近代ヨーロッパ絵画の流れ展」をはじめ、「大相撲松江場所」「ふれあい伝統工芸展」「看板による商人の心意気」など数々のイベントが催され、8月から11月まで市内は100周年記念ムードで沸いた。当婦

人会も記念式典のアトラクションに参加させて頂き、銭太鼓交流会が日頃より磨いた腕を披露した。

また、11月2日より8日までスティックビルで開催された「ふれあい伝統工芸展」では、抹茶コーナーを担当するなど記念事業に華を添えた。



一年を振り返って

副会長 荒木 智珂子



平成6年度は新会長と共に4委員会（総務、事業、交流、広報）に全国大会準備特別委員会を加え、婦人会一同気合いの入ったスタートで進んで来ました。この一年間を振り返って見ます

と、とても行事が多く、各委員会共々大活躍の意義ある1年であったと思います。皆様方の力強いご協力、ご苦労様でございました。

今年は、早々より心の傷む事件が次々と起こり、それ

に伴ない我々商売に対しても大きな影響を感じさせられます今日この頃ですが、改めて自分たちの身の回りを見直し、この際、女性としての根強さを發揮し安定した社会の実現に向かって努力する必要があるのではないかでしょうか。

婦人会も年々若い会員さんが増えてまいりました。この傾向を大いに盛り上げて、活気のある商工会議所婦人会でありたいと思っています。

本年も皆様方のお力で、意義ある会を創りましょう。

出逢いに感謝

副会長 大廻愛子



私が松江商工会議所婦人会に入会させていただけてから、早いもので20年になりますが、その間色々な行事の思い出が出来ました。最近は会員数も多くなり、事業も活発になりました。とくに今年度は松江商工会議所100周年事業や全国大会、全国商工会議所専務理事・事務局長会議と又とない行事

で「お茶席」を担当し、皆様と失敗したり喜こんだり楽しくできました。又、平成9年の全国大会が決定してから皆様方の行動が積極的になり大変に喜こばしく思っております。今後とも皆力を合せて頑張って行かなくてはと思います。こうして多くの人の出逢いができましたことに、感謝しています。

新芽のいぶきを

副会長 井川とも子



婦人会に入会して、地域の奉仕活動や地元芸能に親しむ同好会等、さまざまな企画を通して、人との出会いの喜びを感じています。

姉妹を持たぬ私にとって婦人会の年令層の厚さはとても幸いな事に、一つの事業を終える度

に苦労と感動の中で母や姉、妹が一人ずつ増えて参りました。

私自身、歴史を重ねた人の知恵と若きエネルギー感覚に刺激されながら、全国大会をめざす婦人会に、今、新しい芽ぶきの息づかいを感じています。

活動を振り返って

100周年で銭太鼓を披露

交流委員会 糸原要子

商工会議所創立100周年記念式典のアトラクションとして、婦人会も銭太鼓と安来節踊りを披露しました。生まれて初めての照明設備の整った舞台の上でした。最初は軽い気持ちで簡単に引き受けました。月2回の、しかも一回当りの練習時間は、唯一楽しみのお茶のひと時を入れて2時間です。所定の時間から全員が揃う事は、仕事の関係上まず出来ない事でした。それでも、人様の前で練習の成果の発表の場をいただいたと決ると、暑い中、なんとか都合をつけてよく集まりました。銭太鼓の手で回して打っての音が、各々の個人プレーから、だんだんとあの独特の音色が全員揃ってくる様になりました。音が合うとうれしくて、つい調子に乗ってやっていると銭太鼓を落としてしまう失敗もありました。間に合わせの披露ではありましたが、それぞれ皆の気持ちが一つになった事は、何物にも変えられない収穫でした。

全国大会に参加して

総務委員会 柳下喜美子

11月8日晴天に恵まれ松江駅を出発。車中では話に花が咲きましたが、予定通り岡山に到着し、バスで移動しましたが、会場では、地元婦人会の大勢の出迎えを受けました。

はじめての参加で色々お話しは聞いていましたが、どの様なものか胸をはずませて参加したところ、あまりの人数で圧倒され感動しました。

明けて9日は2組に別れてエクスカーションに参加しました。私たちのコースは日本名園の一つとして数えられる後楽園をはじめ倉敷の美観地区などでしたが、さすがとくに倉敷はとても情緒豊かな美しい町で印象的でした。又、大原美術館もとても古風な感じで一味違った美術館でした。瀬戸内海も波静かで、瀬戸大橋も大変しばらく、楽しい一日でした。

岡山の婦人会の皆様さぞお疲れ様でしたと頭が下がります。大変だった事と推察致します。島根も負けないよう皆んなでがんばりましょう。今年は（大阪）来年は（九州）1997年は島根県で行われます。一人でも多く全国大会に行くチャンスを作り色々な事を体験、経験し、参加する事に意義があります。島根県は島根県らしい小さいながらも内容の充実したものにすればいいのではないかでしょうか……。皆で一致団結して成功させたいものです。今後は毎年全国大会に参加したいと思っております。いい経験です。

“案ずるより産むが易し”と諺にありますように、今年から着々と準備してみんなでよき知恵を出し合い、1997年島根大会に向かって前進しましょう。

新年会に参加して

事業委員会 小村美代子

二度目の新年会に参加させて頂き、一度目は100周年と言うこともあり参加が多くびっくりしましたが、今回は会員約120人中30数名の出席でちょっと寂しい感じがしました。

数人の個人芸を拝見し、感心すると同時に何か自分自身も芸の一つでも出来るようしないといけないと感じました。今年は銭太鼓を完全にマスターし、時間があれば色々なものに挑戦したいと思います。



定着した水辺の市

事業委員会 松本 幸子

私の記憶の中で、一番の暑さだった昨年の8月7日。市役所横での「水辺の市」のスタッフとして参加しました。まさに、花火の舞台裏の一つであるような活躍。焼とり、缶ビール、缶ジュース等の売れ行きは、商売している私にはうらやましい限り。花火の音に負けず、「冷たいジュースはいかがですか」の掛け声も、40代、50代ならではのもの、味があります。各、水辺の市で、一番輝いていたのは、我が婦人会ではなかったでしょうか。あの人混みの中で、ピンクのオリジナルTシャツも、華やぎ、汗もさわやかでした。ただ、本当の舞台裏はもっと大変さを感じましたが、それだけに何かを、残してくれたと思います。人生40半ばにして、知らない事の多さを痛感しています。自分でやれる範囲の活動の中で、婦人として、「何が大切やら」そして、「本当の心の豊かさ」を追求しながら……続けたいと思います。

第1回チャリティダンスパーティー

交流委員会 山崎 幸枝

30年振りのダンスパーティーに参加して
ブルースしか踊れないのに何となくウキウキして友人を誘って出かけました。会場に入り皆さんがあでやかな、いかにもダンスパーティーにピッタリの衣装姿を拝見して、



昭和62年度)											
通常総会											
3	3	H	12	11	11	10	9	6	5	6	5
.	.	元	.	.	8	7	27	8	.	.	.
16	3	2	8	24	8	12	10	29	22	1	26
県下既設商工会議所婦人会正副会長会議(出雲市)											
春季「クリーン松江」に参加協力											
水郷祭協賛「バザー」											
第3回中国地方商工会議所婦人会連絡会議											
秋季「クリーン松江」に参加協力											
神戸・叶匠寿庵 先進地視察											
歳末交通安全運動に協力											
婦人会(青年部と合同)											
和食マナー講習会											
宝塚市商工会婦人部との交流会											
県下既設商工会議所婦人会正副会長会議(益田市)											
第4回中国地方商工会議所婦人会連絡会議(下関)											
県下既設商工会議所婦人会正副会長会議(益田市)											
勉強会(日経支局長講師)											
歳末交通安全運動に参加協力											
婦人経営セミナー「小売店繁昌											
島根原子力発電所見学会											
セミナー											

30年

（昭和62年以降）

いくつになってもいいものだなあと感じ入りました。

さてダンスの曲が流れ皆さんのがスイスイと回って踊る姿をとても羨しく思って見つめました。ジルバとか踊れたらどんなに楽しいかと思いますが不器用でなかなか勇気がありません。中にまたま知り合いの方がおられ、ブルースを3回程つき合っていただきましたが、時々足を踏みつけ、ごめんなさいとばかり……でも久し振りの雰囲気を味わってとてもホットな気分でした。中には椅子にすわりっぱなしの方がいらっしゃる様でしたので、この次からは、男性がもう少し増えたらいいのではないかと思います。しかし、そういう私の主人はダンスが苦手です。なかなかむずかしいものですね。

お世話は大変でしょうが、来年も是非続けていただきたいと思います。

総務委員会 尾野 賴江

婦人会主催の第1回チャリティダンスパーティーが12月6日ホテル一畠で行われました。どんなパーティーだろうかと期待をして参加させていただきました。まずは立食パーティーです。きっと云う間にお皿が空、皆様の食欲に感心するやら驚くやらです。いよいよメインのダンスパーティーが始まりました。中央に出て踊る人はさすがに上手な人ばかり、多くの人達は壁の華(?)先程の元気はどこえやら、でもプロの模範ダンスを生で見せていただき美しさと優雅さにうっとりでした。

お世話をされました会員の皆様方、楽しい会を本当に有難うございました。次回はもっともっと楽しいパーティーで盛り上がり上ります様にお願いします。

会員事業所紹介

御婚礼貸衣裳

留袖から七五三・成人式(ヘア・着付)

- 婚礼ビデオ
- 写真 ■ 各種着付
- マイクロバスで
送迎致します
- 前撮り致します

晴れの日のブライダルファッショントータルにお考えになりませんか。
ニューへヤーがお手伝いいたします。

トータルブライダルファッショントクリエイトする

ブライダルハウス **ニューへヤー**

営業部・ショールーム・フォトスタジオ
●〒690 島根県松江市津田町1274(9号線沿松原入口)
TEL 0852-27-1676代・FAX 0852-31-0174



家族みんなのヘアーは ニューへヤーで

ニューへヤー 草間絹枝

昭和37年4月、理容ニューへヤーとしてスタートし、30余年開業以来一貫して、真心こめてを目標に今日に至り、近年ブライダルハウスニューへヤーとして「貸衣装、花嫁着付、一般の着付、写真ビデオ等トータルブライダル業」に仲間入り致しました。一生に一度の記念すべき花嫁衣装お支度に、無理無駄のない店として活躍して行く所存であります。お嬢様に似合うお衣装を相談しながら納得頂ける技術、又式場選びから当日の立居ふる舞までお喜びの日が安心してお迎え頂ける様ご指導も致しております。お一人ひとりの個性を生かし「初々しく格調高くお品よく」をモットーに花嫁創りをこれまでにない一つのビルの中でトータルに出来大変便利な店として好評も頂いています。

今後共に、ブライダルハウスニューへヤー、又理容・美容共に、ご愛顧ご支援を賜りますようお願い致します。

平成大不況克服を めざして

(有)宮本食肉店 宮本 年子

バブル経済崩壊によりひき起こされました今次の大不況がようやく底を打ったとの報道を見聞して小半年経過したいま、弊社の経営状況を回想しますと売上高の減少が下げ止り、横ばい傾向がなお継続中といったところであります。食料品の需要は不況だからといって極端なそして急速な減少は一般に起こりにくいと思うのですが、産業全般の不振により人々の所得が伸び悩みますとその影響は生活費の切り詰めに始まり、その第一歩は飲食費の節約というのが昔からのパターンであります。

このような産業界の不振の影響をはねのけて売上を伸ばす秘訣は私どもにはありませんでした。しかしだからといって旧態依然としていてよいというのではなく、さまざまな経営努力を行っています。まず仕入れ政策の面から考えますと、極力現金仕入れに徹し、仕入れコストを少しでも

も節約して顧客のあらゆるニーズに適合した品質の品揃えに万全を期しております。

販売政策の面から申しますと、卸売が8に対し小売が2の割合になっており、卸売政策に重点を置くのは当然であります。

ご承知のとおり食肉および関連食品は生鮮物でございます。品質管理を施設設備の強化によって徹底し競争入札価格の探究と奉仕に努めています。小売政策の重点は、あらゆる食肉のニーズに応えることとその品質管理に万全を期すと共に、単なる客寄せ的「目玉」商品を置かないかわり、徹底的に考慮し尽くした勉強値段としての「値頃」商品を中心とした品揃えを行い、真心をこめた奉仕精神をモットーに営業いたしております。

弊社の営業は、バイオニア産業群の進展によって起こる産業全般の好況によって支えられるサービス産業でありますから、リストラを終えた他の広汎な諸産業の回復基調を軸に、現段階では規模部門の拡大構想は温存しつつ、既存部門の合理化をはかりながら、健全経営に徹したいものと考えている次第であります。



女性用銘柄
天祐
旭

天祐酒造(有) 山尾和子

「代表銘柄」純米大吟醸天祐(写真)は特に女性用に作った酒。最高の原料を用い、手造りでじっくりと仕上げた一番せいたくな酒で、とても上品で、やわらかくて飲みやすく、常温か少し冷やして飲むとよりおいしくなります。

「わが蔵」仕込み水は伊弉諾尊を祀る真名井神社の滝水、米は奥出雲仁多地方の好適米、杜氏は出雲杜氏の中でも卓越した技術を持ち、30年以上も勤める曾田幸夫杜氏と、水、米、技、この三つの要素が、バランスよく調和して、上質の酒を造っています。全国新酒鑑評会では山陰地方で最多の八回の金賞を受賞、その酒を酒造業界2,000社ある中で数少ない女性のセールスマン(蔵元の娘3名位)が東京、大阪、京都、九州などに市場を開拓し高い評価を受けています。

佐太神社をたずねて

佐太神社は佐陀川沿いに鎮座し、『出雲風土記』にも登場する由緒ある古社で、出雲二の宮とされている。国の重要文化財に指定されている本殿は国内でも珍しい三殿並立の大社造り。主祭神として佐太天神を正殿にまつり、家内安全、交通安全、五穀豊穣等諸願成就の神として、いにしえより深く信仰されてきた。

取材に訪れた日は、「お忌みさん」の名で親しまれる神在祭（11月20日～26日）の準備が行われていた。この祭の期間中は歌舞音曲や裁縫など神々の気が散ることを慎んで、静かに過ごすのが習わし。笛の音や太鼓囃子はない。宮司は習わしに従い、祭りの前夜にみそぎを終えると外界とのコンタクトを一切断ち切る。そして御供物は昔ながらの習慣をそのままに、決まった家から決まった物を決まった供え方で納める。

普段この神社には拝殿がないが、祭の期間中は本殿の前に仮拝殿がつくられる。それより後ろには入れないようロープが張られる。これは全国から集られた神々が本殿のみならず、後方の山や木々などにも宿うとされているためで、聖域との境界線になっているのだ。

また、御座替神事（9月24日・25日）に行われる佐太神能は能の形式、所作を取り入れた独特のもので出雲神楽の源流ともいわれる。国の重要無形民族文化財の指定

を受けている。

社会や人々のライフスタイルが大きく変化する中で、全てのことにおいて古式の習慣を守り続けている佐太神社。このような神社は数少ない。



話：佐太神社宮司 朝山さん

取材日：1994年11月16日 広報委員会（中村）取材

交 通：JR松江駅から一畑バス恵曇行きで25分、

佐太神社前下車

電 話：(0852)82-0668

《事務局だより》

◆会員を対象にアンケート調査を実施（6月）調査結果をまとめる。（12月）

◆会員名簿（手帳）作成・会員に配布。（12月）

◆島根原発見学会。（9月14日）

◆松江商工会議所創立100周年記念事業『ふれあい伝統工芸展』のお茶席コーナーを担当。（11月2日～8日）

記念式典出席アトラクションに銭太鼓を華麗に披露、喝采をあびる。（10月5日）

◆まつえ女性ネットワークが主催する松江女性フォーラムに参加し当会の活動状況をパネルでP.R.（広報委員会）スティックビル5F（10月22日）

◆大飯原子力発電所、宮津エネルギー研究所見学会。（10月12～13日）

◆第1回のチャリティダンスパーティを開催（12月6日）収益金の一部を双樹学院へ寄贈した。（12月24日）

◆阪神大震災被災地に対する義援金街頭募金（1/21(土)、22(日)、23(月) サティ前、アピア前、JR松江駅前）

山陰中央新報社会福祉事業団へ寄付。（1月25日）

◆資生堂取締役永嶋久子氏を招き、“海外生活で学んだ私のハートとビジネス”と題し女性セミナーを開催（2月17日）

◆銭太鼓交流会、ダンス交流会継続実施予定。

新入会員紹介

交流委員会 伊 原 由紀子

昨年の9月に入会させていただきました。入会と同時に交流委員会に入り、銭太鼓を皆様といっしょに楽しんでおります。

入会いたしましたからには、都合のつくかぎりできるだけたくさんの会合に参加し、皆様にご指導いただきながら、自分自身をみがき、また楽しみながら、会の発展に微力ながら尽くさせていただきたいと思います。どうぞ、よろしくお願い致します。

平成6年度に新しく入会されました。

山崎 和子 山崎碧翠堂

影山 美世子 緑影山呉服店

天野 悅子 (有)天野鍛金工作所

高見 令子 スナック「スター」

伊原 由紀子 日新化成㈱